

Worthy of Trust

PUBLISHED IN 2024 FOR CUSTOMERS OF
THE PRUDENTIAL LIFE INSURANCE COMPANY, LTD.

VOL. **6**

お客さま×ライフプランナー対談

**医療法人とライフプランナーが
世代を越えてつないでいく
地域の医療・介護・福祉**

浅井 禎之さま

医療法人静和会 理事長



對馬 英樹

エグゼクティブ・ライフプランナー



信頼関係は どこまでも続いていく。 永く、まっすぐに。

あなたは人生の岐路に立つたびに
選択と決断を積み重ねてきたことでしょう。

家族の幸せのための選択や事業における決断は、
ときにスピードを上げて駆け抜ける時間や
慎重にブレーキをかける場面、列車を乗り換え、
新しい行き先を選んだこともあったかもしれません。

未来においても、さまざまな場面が訪れるでしょう。
そこで選択と決断に迷ったときは、
いつでも私たちライフプランナーを頼ってください。

線路のレールが2本1組であるように、
あなたに寄り添い、ともに進んでいくパートナーとして
未来への進路を支えていきます。

お客さまお一人おひとりにあったオーダーメイドの安心を、これからも。

Contents

● お客さま×ライフプランナー対談

浅井 禎之さま × 對馬 英樹 P.4
医療法人静和会 理事長 エグゼクティブ・ライフプランナー

● プルデンシャル生命からのご案内 P.9

● 2023年度主要決算指標のご報告 P.10

● 外部評価のご報告 P.11

医療法人とライフプランナーが 世代を越えてつないでいく 地域の医療・介護・福祉



医療法人静和会 理事長

浅井 禎之

あさい・よしゆき/北海道大学医学部卒。2000年より医療法人静和会浅井病院精神科に勤務し、2015年より医療法人静和会の理事長兼社会福祉法人ゆりの木会理事長。千葉県精神科病院協会理事なども務めている。

エグゼクティブ・ライフプランナー

對馬 英樹

つしま・ひでき/2004年ブルデンシャル生命入社。千代田第七支社、エグゼクティブ・ライフプランナー。

千葉県東金市を中心に地域包括ケアシステムを提供する、浅井ヘルスケアグループ理事長の浅井禎之(あさい・よしゆき)さま。病院、介護老人保健施設、特別養護老人ホームなどを運営し、地域の方々の健康を支えています。同グループ常務理事の戸村秀次(とむら・しゅうじ)さま、事務局長の野口孝之介(のぐち・こうのすけ)さまも加わっていただき、担当の對馬英樹ライフプランナーと、世代を越えて安心をお届けすることについてお話しいただきました。

退職年金制度の過渡期での出会い

對馬: 本日はお忙しい中、ありがとうございます。私が浅井ヘルスケアグループさまのお手伝いをさせていただいて、早いもので17年になりました。

浅井: きっかけは2008年の新しい退職年金制度の導入でしたね。それまで適格退職年金制度を使っていましたが、この制度が2012年3月31日で廃止されることになっていました。他の企業年金制度へ移行するにあたり、どの制度が私たちのグループに一番適しているのか迷っていたところでした。

對馬: 適格退職年金制度は、低金利環境が続いていたので積立不足が拡大する企業が増え、経営を圧迫することが問題になっていました。

戸村: 当時、私は事務局長としてその問題に対応していて、退職年金制度を存続するために複数の生命保険会社にご提案をお願いしていたところでした。そんなときに、私が知人から紹介されたのが對馬さん。

對馬: ありがとうございます。浅井ヘルスケアグループさまをご紹介いただいたとき、まさきにお伝えしたのは「永くパートナーとしてサポートさせていただきます

す」ということですね。ライフプランナーは原則として会社都合で担当が変わるようなこともないので、長期的な視点でご提案をさせていただきます、と。

浅井: 当時、對馬さんは私たちの抱えている課題をよく勉強してくださったなと思います。

對馬: もちろんです。2007年の4月に初めてお会いして、翌年4月に新しい退職年金制度に移行するまで、週に一回おうかがいしていましたね。浅井ヘルスケアグループさまの現状やご要望をヒアリングするとともに、商品などについてご質問をいただいて、回答や情報提供をいたしました。私はお客さまのご要望にスピーディにお応えすることをモットーにしています。詳しくご要望をうかがって、それにお応えできるようご提案をお持ちする、その繰り返しのサイクルですから。

職員とご家族が安心できる制度を 長期的な視点からご提案

戸村: そこまで熱心に取り組んでいただいたので、私たちが望んでいるような新しい退職年金制度がつくれたのですね。実は、對馬さんのプレゼン当日まで、別の会社



医療法人静和会 理事長
浅井 禎之さま



常務理事
戸村 秀次さま



事務局長
野口 孝之介さま



エグゼクティブ・ライフプランナー
對馬 英樹



退職金の準備だけでなく、 万が一のときにも安心をお届けしたい

に決まるのではないかという空気があったんです。でも蓋を開けてみれば、對馬さん（ブルデンシャル生命）で満場一致でした。当時の理事長も「彼だ」と一言。ご提案いただいた商品が私たちの要望にぴったりで、非常に魅力的だったんです。説得力もあり、聞いていて誠実さが伝わり響きました。

對馬：ご提案したのは65歳で満期になる「リタイアメントインカム」という商品で、それを退職金として活用す



るプランでした。これなら加入時から65歳になるまでに健康状態が変わっても確実に退職金が受け取れます。もちろん勤続中に万が一のことがあれば死亡保険金をご家族に直接支払われます。市場リスクの影響もなく、職員の方に安心して働いていただけるという意味でこちらをお勧めしました。結果論ですがその後リーマンショックが起きたので、もし確定拠出年金制度を導入していたら退職年金が少なくなってしまったかもしれません。

浅井：浅井病院だけでなく、介護老人保健施設のあさひケアセンターの職員も契約していて、グループ全体の福利厚生につながっています。

對馬：入社して間もない方には10年満期の商品にも加入していただいて、ある程度長く勤続して給与が増えた段階で更新するようにしています。大変ご不幸なことでしたが、入社して3年目の若い看護師の方ががんでお亡くなりなれて500万円の死亡保険金をご家族のもとにお届けしたことがありました。その際、お父さまが「娘はまだこれから職場で貢献しなければならぬ段階だったのに、こんなによくしてもらえて、よい職場に入れたんですね」とおっしゃったんです。非常に悲しい気

持ちで手続きをしましたが、浅井ヘルスケアグループさまがご家族からそのように言っていただけるような制度の導入に関わってよかったと思いました。

野口：採用時も、福利厚生のひとつとしてこういう退職金制度があると胸を張って言えます。現理事長も、ベテラン、中堅、若手と、年次に関わらずみんなが働きやすく、働きがいを感じられる職場にしようと常に考えているので、働く方もモチベーションが上がりますね。

對馬：毎年、新規加入の方にはお一人おひとりに時間をいただき商品のご説明をしますが、そのときにどうしてこういう制度があるのか、病院のどういう想いが込められているのかという背景の部分もご説明しています。

浅井：對馬さんがていねいに説明してくれるので、従業員もみんな理解してくれています。ありがとうございます。

ライフプランナーも承継を見据えて 深く、永いお付き合いを

浅井：先代の理事長から医業を承継する際も、對馬さんに専門の税理士をご紹介いただくなど、支援していただいたのも助かりました。私たちグループのことをよく知りながら、あくまで第三者の目線で相談に乗ってくださる存在というのはありがたいものですね。

對馬：昨年、先代の理事長がお亡くなりになりましたが、相続などで大きな問題もなく、安定した経営を続けていらっしゃいます。そのお手伝いができて本当にうれしいです。

野口：承継といえば、昨年からは継続して、ブルデンシャル生命の若いライフプランナーの方に職員向けの資産形成セミナーを開催していただいていますね。対面とオンラインのハイブリッド開催もしていただいて、少しずつ参加する職員が増えていきます。

對馬：清水ライフプランナーと英ライフプランナーですね。2人は私が所属する支社の後輩で、私が育成のサポートをしています。私もまだまだ現役でお役に立つつもりですが、いつかご契約を引き継ぐときがやってくるでしょう。彼らにはそのときまでじっくりと浅井ヘルスケアグループさまのことを勉強してもらいたと思っています。まずは2人の顔と名前を覚えていただくところから、ということで、月に1度セミナーをやらせていただいています。ぜひご指導いただけると幸いです。

浅井：對馬さんもお担当いただきながら、長い時間をかけてお2人にもうちのグループや職員を知っていただ



戸村秀次 常務理事。初代の理事長から現在の理事長まで、三代の理事長の元で医療法人を事務面から支えてこられました。現在は浅井ヘルスケアグループの特別養護老人ホーム「ゆりの木苑」の施設長も兼任されています。



野口孝之介 事務局長。2023年11月6日に戸村常務理事から事務局長の職を引き継ぎました。この日付は、偶然にも初代理事長の命日であり「しっかりやれ」という意味だと感じて鳥肌が立ったと話されます。

けるのは素晴らしいと思います。万全の引き継ぎ体制で安心できますね。私たち浅井ヘルスケアグループも、地域の医療・介護・福祉にとってのインフラとなっているので、継続性というのはとても大切なことです。地域にとっても、約1,000名の職員にとっても、このグループを継続させていくということが私の使命ですから。

地域のインフラとしてあり続けることは 職員が安心して快適に働けること

對馬：病院を創立された初代理事長の浅井利勇先生も、地域の医療をとっても大切にされていた方だったとうかがっています。

浅井：祖父は千葉県市原市にあった国府台陸軍病院で



財務でも、福利厚生でも、 生命保険が医療法人を 支えてくれる

精神科の軍医をしていました。終戦後に退役して両親の出身地だった九十九里に近い東金で開業したのです。当時から精神科だけでなく、内科、レントゲン科も標榜科としていたそうです。地域の医療に貢献しようという気持ちが強い人物でした。

対馬：そうだったんですね。毎年5月に開催される病院主催のお祭りも、地域への貢献を重視された初代理事長の想いを受け継いでおられるのでしょうか。職員の方が屋台も出して、地域の方々がとても楽しみにしているようでした。

戸村：先代は職員の教育にも力を入れていましたね。病棟を建て替えたとき、広々とした研修室をつくりました。WFMH（世界精神保健連盟）の事務局長を務めたり、日本で開かれた国際大会の会長を務めたりグローバルな舞台でも活躍された方でした。

浅井：でも私は先代から「グループをこうしてほしい」というような引き継ぎはまったく受けていないんですよ。この10年間はまずグループ全体を把握するところからスタートしなければなりません。もちろん、一人の精神科医、浅井病院の副院長としての仕事はしていました。理事長になってみると、浅井ヘルスケアグループは医療だけでなく、介護、福祉の事業も幅広く行っています。さまざまな職場でどんな問題があるか広く吸い上げて、そこから方向性を出していきたいと考えています。

対馬：職場環境という意味では、生命保険にできることがたくさんありそうです。なにかよいご提案ができればと思います。

浅井：当グループの医療圏は首都圏にあるものの、人口も減少して高齢者率が上がり、人口あたりの医師が

少ない医療過疎地域です。地域のインフラであり続けるために、まず職員が安全で快適に働けるようにしなければなりません。

対馬：医療・介護の分野でこれから増えていく外国人の職員についても、条件を満たせば退職年金制度に入れますし、生命保険を利用して定年退職者の再雇用の原資にすることもできます。

浅井：退職年金制度も含めて、職場環境も福利厚生もよくなければ、浅井ヘルスケアグループを存続させることはできません。生命保険は、財務でも福利厚生の面でも経営を支えるという側面があると思っています。そういう意味でも対馬さんにはこれからも末永く当グループのサポートをお願いしたいですね。

対馬：ご期待に応えていきたいと思えます。本日はどうもありがとうございました。



（左から）英翔ライフプランナー、清水貴茂ライフプランナー。浅井ヘルスケアグループさまの職員を対象として、月に1度、資産形成セミナーを実施しています。参加された職員の方で、ご希望された方には個人向け保険のご提案も行っています。

このようなケースはありませんか？

※変更事項が未届の場合、お手続きをスムーズに行えなくなってしまいます。

法人名の変更・改印等を行った

法人名を変更したけど…

法人印を新しくしたけど…

ご確認ください

法人名を変更したが名義の変更を行っていない、印鑑を新しくしたが改印手続きをしていない等はありませんか？ 法人名・法人のお届印が最新の状態となっているかどうかご確認ください。



会社・事務所を移転する

事務所を移転する予定だけど…

ご確認ください

大切な通知などを正確にお届けし、保険金・給付金等のお支払いを確実なものにするためにも、移転の際は、新しい住所・電話番号をお知らせください。

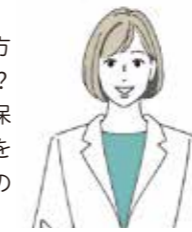


役員・従業員が改姓した

結婚して名字が変わったけど、そのままでもいいよね…

ご確認ください

被保険者である役員・従業員の方のお名前が変わっていませんか？ お名前が変わっている場合は、保険金・給付金等のご請求手続きをスムーズに行うために名義変更のお手続きをお願いいたします。



役員・従業員が退職した/法人を解散した

従業員が退職したけど…

法人を解散したけど…

ご確認ください

被保険者である役員・従業員の方が退職された、または法人を解散した後、必要な手続きを行われていますか？ 退職された方の契約、または解散後の契約が継続していないか、ご確認ください。



些細なことでも気になることがございましたら
担当ライフプランナーへお問い合わせください。

※記載の取扱は2024年8月現在の取扱によるもので、将来変更となることがあります。

指定紛争解決機関について

生命保険業務に関する指定紛争解決機関は、一般社団法人生命保険協会（以下、同協会）です。同協会の「生命保険相談所」では、生命保険に関するさまざまな相談・照会・苦情を受け付けています。また、全国各地に設置された「連絡所」にも電話相談が可能です。なお、生命保険相談所は、苦情の申出を受けたことを生命保険会社に連絡し、解決を依頼した後、原則として1カ月を経過しても、契約者等と生命保険会社との間で問題の解決ができない場合、中立・公正な立場で紛争解決支援を行う裁定審査会を設け、契約者等の正当な利益の保護を図っています。

一般社団法人生命保険協会生命保険相談所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル3F

☎03-3286-2648 <https://www.seiho.or.jp/contact/> 月曜～金曜（土曜・日曜、祝日、年末年始を除く）9:00～17:00

新契約について

■ 新契約件数

36.2万件

「新契約件数」は、新たにご契約いただいた保険契約の件数です。

■ 新契約高

4兆4,450億円

「新契約高」は、新たにご契約いただいた保険契約の保障金額の総合計額です。

■ 新契約年換算保険料

763億円

「新契約年換算保険料」は、新契約について月払・年払・一時払等払込方法の違いを調整し、総払込保険料を保険期間で按分して、1年あたりの保険料に換算した金額です。

※上記の件数と金額はいずれも個人保険および個人年金保険の合計を表したものです。

保有契約について

■ 保有契約件数

455.4万件

「保有契約件数」は、ご契約いただいている保険契約の件数です。

■ 保有契約高

44兆8,701億円

「保有契約高」は、個々のお客さまに対して生命保険会社が保障する金額の総合計額を表します。

■ 保有契約年換算保険料

8,783億円

「保有契約年換算保険料」は、保有契約について、月払・年払・一時払等払込方法の違いを調整し、総払込保険料を保険期間で按分して、1年あたりの保険料に換算した金額です。

※上記の件数と金額はいずれも個人保険および個人年金保険の合計を表したものです。

保険料等収入、保険金等支払金

■ 保険料等収入

1兆6,021億円

「保険料等収入」は、お客さまからお払い込みいただいた保険料や再保険収入による収益で、生命保険会社の収益の大部分を占めています。

■ 保険金等支払金

1兆3,531億円

「保険金等支払金」は、保険金、年金、給付金、解約返戻金およびその他返戻金等、お客さまに保険契約上お支払いさせていただいた金額を示すものです。

※再保険契約による支払再保険料が含まれます。

基礎利益

478億円

「基礎利益」は、生命保険会社の本業における1年間の収益力を示す指標のひとつで、一般事業会社の営業利益や銀行の業務純益に近いものです。

総資産

6兆2,904億円

「総資産」とは、有価証券等の運用資産、現金および預貯金、貸付金、その他非運用資産などの合計で、生命保険会社の事業規模を示す財務指標のひとつです。

ソルベンシー・マージン比率

749.3%

ソルベンシー・マージンとは「支払余力」を意味し、大災害や株の大暴落など、通常の予測を超えて発生するリスクに対し、どの程度「支払余力」を有しているかを判断する行政監督上の指標のひとつです。200%を下回った場合には、監督官庁による業務の改善などの命令の対象となります。

保険契約継続率

■ 13月目継続率(保険金額ベース)

94.1%

「保険契約継続率」は、ご継続いただいている保険契約の割合を示した数値です。

格付け

■ S&Pグローバル・レーティング
(保険財務力格付け)

A+

(2024年6月末現在)

■ 格付投資情報センター(R&I)
(保険金支払能力)

AA

(2024年6月末現在)

※格付けは格付け会社の意見であり、また一定時点での数値、情報等に基づいたものであるため、将来的に変更される場合があります。各格付けは、保険会社全体を評価しているものではなく、将来の保険金支払いなどについて保証しているものではありません。

プルデンシャル生命は今年も 顧客満足度で高いご評価をいただきました

J.D. パワー 生命保険保全手続満足度No.1

ご契約後のアフターフォローで最高評価をいただきました

プルデンシャル生命は、顧客満足度に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社ジェイ・ディー・パワー ジャパンが2024年に発表した「生命保険保全手続満足度調査」で9年連続の総合満足度第1位となりました。「顧客対応」、「連絡・案内」、「手続・書類」の全3ファクターで最高評価をいただきました。

調査概要

J.D. パワー 2024年生命保険保全手続満足度調査

<実施期間> 2023年11月中旬～12月上旬

<調査方法> インターネット調査

<調査対象> 請求以外の手続き・問い合わせをした顧客
7,067名からの回答による。

<出典>

japan.jdpower.com/awards



Forbes誌「World's Best Insurance Companies 2024」

(世界最高の保険会社)

日本の生命保険会社で2年連続のトップ評価

プルデンシャル生命は、米経済誌Forbes(フォーブス)が2024年に発表した「World's Best Insurance Companies」(世界最高の保険会社)の生命保険部門において、日本から選出された15社の中で第1位に選ばれました。当社は、お客さまの満足度や推薦度、カスタマーサービス、契約の透明性で高く評価されました。

World's Best Insurance Companies 2024について

Forbesは調査会社Statista(スタティスタ)と共同調査を実施し、世界15か国4.5万人以上からオンラインを通じて得た回答をもとに298社を選出しました。アドバイス、カスタマーサービス、コストパフォーマンス、契約の透明性、保険金請求時の対応、満足度、顧客ロイヤルティ、推薦度を基準に評価しています。

<出典>

<https://www.forbes.com/lists/worlds-best-life-insurance-companies/>





プルデンシャル生命保険株式会社

〒100-0014

東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー

Worthy of Trust vol.6 2024年9月発行

編集・発行 プルデンシャル生命保険株式会社 広報チーム

カスタマーサービスセンター

0120-810740 (通話料無料)

ホームページアドレス <https://www.prudential.co.jp/>

※法人を契約者とするご契約のご照会やお手続きのご希望は
担当ライフプランナーまでご連絡をお願いいたします。

※最新の営業時間は当社ホームページをご覧ください。

※当社がご提案する保険は、すべて無配当保険です。

※保険種類をお選びいただく際には、「保険種類のご案内」をご覧ください。

※ご契約の際には、「契約概要」、「注意喚起情報」および
「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。

※記載の取扱は2024年8月現在の取扱によるもので、将来変更となることが
あります。

※法人向け保険商品は、被保険者様に万一のことがあった場合、
(死亡)保険金等を事業保障資金等の財源としてご活用いただくための、
「保障」等を目的とした保険商品です。

※法人保険のご加入のご検討にあたっては、「法人向け保険商品の
ご検討に際してご留意いただきたいこと」を参照のうえ、
税務取扱についてご留意すべき事項をご確認ください。

※このご案内に記載の情報は法律上又は税務上の助言ではありません。
このご案内をもって専門家の助言に代えることはできません。

※このご案内は、2024年8月現在の税制に基づいています。
今後、制度内容が変更される場合があります。個別の税務取扱いについては、
所轄の税務署もしくは税理士等にご確認ください。